

人間ドックを受診される方へ

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、検査を実施することにより周囲への汚染飛沫・エアロゾルの拡散を生じることから当面の間下記の検査を中止します(再開時期は未定、検査再開につきましては人間ドック学会、日本呼吸器学会の動向を踏まえ検討いたします)。

中止期間に人間ドックを受診された方は、下記の検査が再開されても後日受けていただくことはできません。ご了承ください。

当面の間中止となる検査

- 肺機能検査(大きな呼吸をしたり、勢いよく息を吐き出したりして、肺の機能を調べる検査です)

なお検査中止期間に人間ドックを受診された方は人間ドック料を下記金額へ減額させていただきます。

- ・胃カメラまたは胃透視【バリウム検査】を受診された方 46,300 円
- ・胃検査なしで受診された方 33,100 円

※肺機能検査について

肺機能検査を1年間実施しないことに関しては、喫煙者では測定値が1年で大きく変化することがあるが、非喫煙者の健常者においては減少速度が遅く、1~2年検査を行わなかったとしても大きな支障にならない場合が多いです。人間ドックの呼吸機能検査の意義として、特に喫煙者の慢性閉塞性換気障害を検出し、COPDを診断して喫煙習慣への早期介入を行って呼吸機能の重症化を防ぐ点に重点が置かれています。呼吸器系に大きな変化が起きた時には、聴診やX線写真に所見が現れる事が多く、肺機能検査以外の検査での注意深い観察によって対応できることもあります。(人間ドック学会より)

※最新のお知らせは大阪労災病院健康診断部のホームページで公開いたしますので、そちらでご確認ください。
(<https://www.osakah.johas.go.jp/section/checkup>)